

The Y's men's Club of *Kyoto Prince*

THE SERVICE CLUB TO THE YMCA AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y's MEN'S CLUB

SANJOU YANAGINO BANBA KADO NAKAGYOU-KU KYOTO JAPAN, GIP 604-8083
URL <http://www.prince-ys.com>

TEL 075-231-4388

強調月間
TOF/CS/FF

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANES EVERY RIGHT"



Bulletin
2009. 2

2009年 2月1日号発行
第28巻 8号
通巻278号

会長主題 (CP)

廣井武司

主題

「友情の輪を拓けよう」

スローガン

和・話・輪

WA WA WA

『医者が必要とするのは、健康な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである。』
ルカによる福音書 第5章31?32節

国際会長 (IP)

V. S. Bashir (India)

主題

“Be the Light of Hope” 「希望の灯となろう」

スローガン

“Share with a smile” 「分かち合いは微笑をもって」

アジア会長 (AP)

Rita. Hettiarachchi (Sri Lanka)

主題

“Be the Light of Hope” 「希望の灯となろう」

スローガン

“Working Together to Serve Better”

「より良き奉仕のためにともに働こう」

西日本区理事 (RD)

佐藤典子 (熊本ジェーンズ)

主題

「思いやりを持ってワイズライフを！」

“Enjoy Y's life with Consideration!”

—わかち合いは微笑をもって—

—Share with a smile—

京都部部长

藤田寿男 (京都ウイング)

主題

「意識を持って活動に参画しよう！」

—555実現に向けて—



にこにこ
1月第一例会 0円
1月第二例会 1,000円
累計 44,000円



ファンド
じゃがいも 320,095円
すいか 24,200円
その他 5,128円
累計 349,423円



BFポイント
切手 0p
現金 0p
累計 0p



1月第一例会 14名
1月第二例会 17名
メーキャップ 0名
在籍者数 21名
出席率 81%

We are family

We are family

We are family

We are family

気は言葉言葉を大切に、



＜新会員を迎えるにあたり＞
廣井 武司

気分というものは伝染し
やすいものだ。
家の中でいつも不機嫌で
苦虫を噛み潰したような
顔をしている人がいたら
、周りはたまたまらない。
もし一家の長がそうであ
ったら、家中暗くなる。

現下、私たちを取り囲む環境は新年を迎え一カ月を経過した現在、以前にもまして経済、その他あらゆる場面で、その厳しさを増しています。奉仕クラブの置かれている状況も例外でなく、その周囲にはあまりいい話を聞きません。TVから流れてくるニュースにも、今の世相を反映してか、昨年末いい話はほとんどない状態です。

以前なら特異な出来事と映った家族間での殺人や放火のニュースも特に目立つこともなく流れてゆきます。他人事には無関心、自己中心のもの考え方が、こんな世の中にしてしまっているのではないのでしょうか。

このような時代にこそ、何とか精神状態を積極的に保つことが大切となってきました。元氣、ヤル氣の氣が大切です。

「氣」は心のあり方で、私は「氣」あきらめない心」と考えて行動したいと願っています。すべての考え方が消極的になると、生きる力が委縮して健康にも良い影響がないと思われれます。

「面白くないなあ」「困ったなあ」「つらいなあ」「腹立つなあ」「悲しいなあ」など、普段つい口から出てしまう、これらの言葉にも周囲の空気を悪くしてしまうことがあります。そして、これらの何気ない言葉の中に生きていると、価値のない感化を受けてしまうことがあります。

氣は言葉。言葉は大切です。消極的な言葉はストツプして、クラブに集うときは、笑顔でみんなと接してください。

この2月、私たちのクラブに新しい仲間を3名迎える予定です。全メンバーのあたたかい手で明るい心で迎え入れてください。

2月はTOF、CS、FFの強調月間になっています。

例会の食事を抜いたり、節食したりして、その浮いた食費でYMCAの難民救済やボランティア活動を支援するために使用されています。CS、FFの意味もこの機会に再勉強して、不況とはいえ、まだまだ世界からみれば豊かさが残る中で生活している私たちのあり方を見つめ直すいい機会と思えます。

1月第一例会

1月9日、木屋町二条の「大岩」にて開催。恒例の時総会、定足数に達するまでビールを飲みながら歓談。気持ちよくなってきたところで、臨時総会開催、次々期会長に会長選考委員会推薦の古川安雄ワイズが盛大な拍手で選出されました。広井会長、金丸次期会長に続き3年先まで万全の体制が整いました。古川ワイズで京都プリンスクラブの25代目の会長、25周年の節目と、国際大会の年でもあります。「メンバースhip バイデザイン」とすばらしい意気込みです。



25代目会長古川安雄君に決まりました。国際大会の年、国際クラブに相応しいクラブへと私たちを導いていただけると信じています。



ご機嫌もよろしく一席を

お世話役大変ですが、活躍をみんなが楽しみにしていますよ。今期、次期、次々期会長とバトンをとれるとされる事無く、受け継がれるていくスタートになりました。会場は、座敷は貸切で自由に動き回ることができ、森・渡辺・岡西・西村メネットの参加で明るさも増し、至る所で乾杯・祝杯の連続、百人一首はじめ楽しい余興もあいつつ、談論風発の連発でした。例会后は、恵比寿さんへ繰り出し、新年の願懸けも果たすことができました。その後、も町をふらふらしてしまい、家に着いたのは朝方・二日酔いでしたが、何かわくわくしてきました。五年、チェンジの時代ですが、未来を自分たちで築き上げて、すばらしい年にしていきましょう。



次期金丸会長の乾杯



子供に戻って



次々期会長はよく食べますよ



毛利節が絶好調



次は



会長と副会長どちらが強い？



じゃんけんポン



クラブ討論？

2008年7月～2009年6月期半期総会

西堀和之

1月21日水曜日午後7時
何時ものように例会が始まる。
今日は半期総会で昨年7月から
12月末までの事業活動の総括
である。本日の例会出席者は1
7名であったが、会則により総
会が無事成立。

会長挨拶の中で我々のクラ
ブは西日本区所属のクラブが会
員の減少に悩む中、今2月に3
名の入会が決まり会員増強実現
に努力している稀なクラブであ
ると。これはキーマンバーがク
ラブチャーター以来常々口にし
てきたことの一つである。キ
ーマンバーの数も少なくなってい
るが、その思いは20年余連続
として若いメンバーに引き継が
れエクステンションで会員数の
一時的減少を見てきたが会員増
強、クラブの活性化に対する内
包するエネルギーは減ることを
知らず益々大きくなっていくこ
とを意味する。ヴィヴァ、プリ
ンス!!

京都YMCAの人事の都合
で昨年末連絡主事が代わり神崎
送主事が当クラブの連絡主事と
して正式に就任されたと紹介が
あった。

神崎総主事。他クラブとの兼任
でお忙しいでしょうが、例会の
皆出席を目指して宜しくお
願います。

総会では、DBCが東京
サンライズクラブと締結に向け
、また20年ぶりにIBCが締
結に向けて話が進んでいること
が披露された。

二つの締結を成功させること
が下期の一つの目標となった。
IBCは我がクラブが設立され
た2年後に台湾の台中エバーモ
アーククラブとDBCはクラブ設
立10周年記念に現在東日本
区に所属する沖繩のシーサーク
ラブと交流が始まる。我がクラ
ブ・相手クラブの事情もあり必
ずしも平坦な道のりを歩んでき
たわけではないがIBC/DBC
Cの発展に王道を目指し歩みを
進めたいものである。

また、夢委員会からの25周
年に向けての指針に関する提案
があり承認された。この指針に
向けて我がクラブは新しい歩み
を始めることになる。

一方で、地域奉仕・環境委
員会から継続事業の規模縮小を
求める発議がされたが、事業に
対するコンセンサスが得られて
いないとの理由で発議は否決さ
れた。残念なことであるが、こ
の結論が前期からの当該事業趣
旨が仮に会員の不理解・無関心
に起因するものであれば当委員
会は事業の趣旨を会員が理解で
きるように努力する必要がある
。

いずれにしても、我がクラ
ブはポジティブにクラブ運営を
推し進めていることは間違いな
く新年にあたり誠に喜ばしいこ
とである。

廣井会長のメッセージ
— 新たななるスタート —
渡邊公生

2008年7月～2009年6月度に廣井会長の肝いりで設置され
た25周年夢委員会が昨年終盤に提案されたクラブモットーとクラブの
指針が半期総会で最終決議された。チャーター20数年のクラブが今更
と言われるかもしれない。

廣井会長が二度目の会長職を受けた背景には、プリンスクラブの
弱体化が見え隠れしたここ数年、大きな決意で受けられたと思う。その
現われとして作られた夢委員会、森委員長の良い指導により改めてクラ
ブモットーと指針を決められたことは廣井会長の強い思いとリーダーシ
ップの結果と思う。その働きが今期は新入会員を後半に得られること
もつながっている。

クラブスローガンは「子供たちの未来のために」
行動指標は「家族と一緒に」

プリンスの歴史はYMCA当然のをサポートするクラブとして当然
のことながら、「青少年の健全なる育成」がある。また過去において部
長輩出時の部長標語として「子供たちに渡すべき未来」があった。この
二つを考え子供たちの未来の健全な体、心を守るということに夏たわけ
である。その一つとして、割りばし回数も今となればその方向性に一致
したものと考えられる。子供たちの未来のために私たちが改めてできる
ことを、自クラブだけではなく、他のクラブとの交流、人材輩出による
区や国際とのつながりのなかで得られる情報をもとに、プリンスらしい
活動ができるその基盤ができたと思えるものである。

次期、次次期の会長も明確な背骨が見えたことで、ブレのない活動に
専念していただけるものと思える。

20数年を経て、プリンスクラブがようやく自分たちの目標を確認で
きたことは今後の成長の大きな力となることは間違いないと信じる。

廣井会長の素晴らしいリーダーシップに感謝する。

次次期会長として



古川安雄

プリンススイズメンズクラブの次次期会長を仰せつかり、今一度、メンバー中心に「一致団結」して「メンバーシップ・バイ・デザイン」をより一層実践して行きたいと考えます。

この「メンバーシップ・バイ・デザイン」は、YMCAに關わっておられる方々や我々ワイズメンで有れば、既にご存知で日頃から実践されているともあり、今更と思われる方もおられると考えますが、プリンスクラブもここ数年の間に新メンバーの割合も増え、クラブ運営をキーマンバー、チャーターメンバーの方々中心に牽引されながら私も6年を迎えました。

今まで諸先輩方に温かく時には厳しく接して頂きながら、様々な事をご指導頂き体験させて頂きました。次次期の会長をさせて頂く事により、プログラムに参加者から使命実現の担い手の一人として更に新しい体験が出来て成長させて頂けると確信しております。

我々は、YMCAと深い関わりをもってサポートするワイズメンズの一員です。全ての人に開かれた団体のYMCAが目指すものに「ウエルネス」と計画的に会員を養成して行く「メンバーシップ・バイ・デザイン」が有ります。この「メンバーシップ・バイ・デザイン」とは、専門スタッフの運営に頼りがちだった反省から、生まれた経緯が有ります。当初はプログラムの参加者であった状態から様々な経験を通して、運営する側に成長する。YMCAの真の価値を見いだして活動する会員へと成長して行く。このスタンスをプリンスクラブで一層取り組んで行き、進化し続けるクラブのベースをメンバー一丸となつて創つて行きたいと考えます。

ワイズバッチに象徴される、身体、精神、知性のバランスと統合、継続的成長、人への奉仕を骨格にし、各人が与えられたその状況の中で、自らの潜在的な可能性を最大限に發揮して「メンバー、メネット、コメント」の皆さんと一緒に質の高い活動を目指したいと考えます。

プリンスクラブの価値、使命実現の担い手としての全員の力で、温かい心の絆で連携し、忍耐強さ、意志の強さ、人を思う優しさ、柔軟さ等の心構え、互いに真意を深く理解しようとする心で、Yサ、CS事業を中心にクラブ内だけで無く、地域の方々との連携も構想に入れながら皆様と一緒に活動したいです。

使用済み割り箸の出荷 地域奉仕・環境事業委員会委員長 西堀 和之



12月22日・日曜日午後1時30分から廣井会長宅のガレージをお借りして前月末から回収した使用済み割り箸の出荷作業を雨天の中決行。会長のご配慮で事務所の中で作業となり、雨にも濡れず29カートンの荷物として王子製紙・春日井工場宛に年内最後の出荷をする事ができました。

今回の出荷以外にもメンバーが独自で本事業の賛同者を募り提供を受けて各自で出荷していただいているものもあり上半期の出荷量は目下集計中です。

委員会が主として割り箸の回収に伺う先「料理旅館」へは当番が毎週木・金・土・日曜日のいずれか都合の良い日に割り箸の回収に当たっていますが、回収に伺うとねぎらいの言葉を頂き気分も和むことがある一方で「今日は忙しい。後にして」けんもほろろの対応をされる先もあり、情けない思いをすることも有ります。更に、割り箸のリサイクルを社会貢献の一つに位置づけている王子製紙も我々が出荷した割り箸の受領案内を葉書で荷送人が変わるたびに一度だけ送っているようですが、書いてくる文面には以後の受領案内はいたしません。同社の趣旨に賛同した人たちに対し葉書一枚で対応している様を見ると、昨今の古紙の使用問題や本年10月以降の世界的金融危機による紙の消費量減少で今や社会貢献も面子のみの事業となつていくようにもうかがえます。

一昨年の西日本区大会・メネット会でアドバイスを受けメネット会主導で且つ西日本区からCS資金の提供を受け進めてきた本事業も一年余経過した現在、前述の状況を考えると見直しをする時期が到来したように思っています。

最後になりましたが割り箸の梱包出荷をお手伝いいただいた廣井会長、小泉副会長、岡西ワイズ、第一事業グループの皆様には厚く御礼申し上げます。

京都プリンスクラブ クラブスローガン —子供たちの未来のために—

私がYMCAと初めて出会ったのは、中学2年生の冬のスキーキャンプでした。それまでこのない私にとって、初めてのスキーキャンプは不安でいっぱいでした。中学生という思春期の私はどこか恥ずかしく、周りのメンバにもそっけない態度をとっていました。しかしそんな不安や態度も、集合時の元気なリーダーのまぶしいくらい笑顔と元気いっぱいの声で、いつきに吹き飛んで楽しい気持ちに変わりました。そして鮮明に覚えています。そのときのキャンプがきっかけで、毎年冬にはYMCAのスキーキャンプに参加するようになりました。



高校3年生のスキーキャンプでの事。受験や家族の事でたくさん不安があり、リーダーに相談したことがありました。私は誰かに話を聞いてほしかったのでしよう。

キャンプの最終日、リーダーがそっと手紙をくれました。そこには「Seize the day（今を生きて）」という言葉が書かれています。それはロビン・ウィリアムス主演の『Dead Poets Society（いまを生きて）』という映画に出てくるフレーズでした。

リーダーにとってはそれほど大きな意味を込めて書いたつもりではなかったのですが、私にはその言葉が大きな支えになって勇気付けられました。その後、映画を見て今の自分の教師という生きかたを選択したのかもしれない。

リーダーのなにげない表情や言葉が子どもたちに大きな力や喜びを与えることを実感し、私もそんなリーダーになりたいと思ひ、大学生になり野外活動のリーダーを始めました。たくさん子どもたちと出会い、たくさんのお話をしました。時には意見がぶつあつて白熱したこともあります。涙を流して別れを惜しんだこともあります。星空の下で焚き火を囲んで朝まで語り明かしたこともあります。肩を抱き合つて大きな声で歌つたこともあります。そうしたYMCAのリーダー活動の中で、私が子どもたちにどれだけかばわたりませぬ。しかし、少なくとも私にとつてのYMCAでの活動は、私を人間的に成長させてくれる大きな意味を持つものでした。

YMCAのボランティアリーダー

『ボランティア』という言葉は辞書で引くと「自発的に無報酬で社会事業などに奉仕する人」とあります。私のYMCAでのボランティアリーダーの活動を思い出すと確かに自発的に無報酬で奉仕していたのですが、ボランティアという言葉には、どこか気恥ずかしい違和感を覚えていました。子どもたちと共に過ごす時間や、子どもたちの表情を思い浮かべながらプログラムを立案企画する時間は「奉仕している」というよりもむしろ「大切な時間と場所を提供してもらっている」という感覚が強かったからだと思います。また、同じ目標に向かつて共に悩み考え、共に笑い協力できる仲間という大切なものを感じる事ができたのも「奉仕」という言葉がしっくりこない理由だと思っています。

YMCAのリーダーを卒業後、中学校の教師として働き始めて2年目の事でした。同じ学校の先生と大学生の頃の話をしてる中で、偶然にもその先生が京都YMCAのリーダーをされていた事を知ったときには感動しました。山を登つた話や子どもたちの話、リーダー仲間の話と、YMCAですごした日々の話題で盛り上がりました。こうした出会いもYMCAの魅力のひとつだと感じました。



YMCAはボランティアとスタッフが共に責任を担う「ボランティア・アシスタント」です。特に特定の分野に限定されない多様な活動の領域と子どもから高齢者まで幅広いボランティア層はYMCAの特色とも言えるでしょう。今日では地域の諸団体や企業なども連携して、さらにボランティアの活動は広がっています。

最後に、ぜひ今後とも、リーダーの成長や子どもたちの笑顔のためにお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

リーダー活動を通して成長させてもらい、たくさんのお出会いを与えてくれたYMCAのスタッフ、メンバ、保護者、YMCAの会員、ワイズメンの皆さんに、感謝しています。そして、今後もさまざまな形でYMCAに関わっていきたく思います。

京都YMCAからのお知らせ

京都YMCAは2008年度の年間聖句を「平和を実現する人々は幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる(マタイによる福音書第5章9節)」としていました。そのような2008年12月に東エルサレムのYMCAから「世界がクリスマスを祝い、新年を迎える準備をしていたとき、イスラエルは1967年以降最悪で致命的な空爆をガザに対して行いました。46名の子どもと16名の女性を含むおよそ388名が殺害され、1750名以上が負傷しました。イスラエルの当局者は、これは始まりに過ぎず、最悪の状況はこれから訪れると公言してはばかりません。(略)」のニュースがはいり日本YWCA及び日本YMCA有志一同(2008年12月29日)はガザ攻撃に対するアピールを以下のように発表しました。「パレスチナに大切な友人をもつ、私たち日本のYWCA、YMCAのメンバーは、2008年12月27日に開始されたイスラエル軍のガザ空爆に対して、心の底からの強い悲しさと憤りをおぼえています。長期にわたる封鎖によって疲弊しているガザに対して、圧倒的に優位な軍事力を有するイスラエル軍が行った今回の空爆においては「自衛」のための攻撃という口実は全く成り立ちません。一日の数としてはこれまでに最大の死傷者が発生させ、暴力の連鎖をさらに深め、中東和平に寄せる全ての人々の期待を裏切る蛮行にほかなりません。ガザの人々の尊い命がこれ以上奪われることのないよう、私たちはイスラエル政府に対して、以下の2点を強く要求します。

1. 空爆をはじめとする、イスラエル軍によるガザへのあらゆる攻撃を即刻中止すること。

2. ガザに対する国際社会からの人道支援が滞りなく実行されるよう、あらゆる妨害を行わないこと。

同時に私たちは、今、この困難な状況においてもパレスチナの地における平和の実現のために働いているYWCA、YMCAのメンバー、スタッフの働きに対して連帯の思いを表明します。また、日本のYWCA、YMCAにつらなる一人でも多くの方が、この状況に対して思いを寄せ、パレスチナの地における平和回復のために、祈り、行動してくださることを合わせて強く希望します。」

私たちには愛があります。世界の人びとが争いのない社会で生きることができると。皆様と共に祈り行動しましょう。総主事 神崎清一

1. 新年度プログラム募集

子供たちのウエルネスプログラムの新年度募集を行います。ご参加をお待ちしております。受付はお電話にて受け賜ります。
スイミングスクール 幼児・少年体育活動 2月25日(水)午前10時より
電話075-255-4709

グローバルアウトドアクラブ 2月25日(水) 午前10時より
電話075-231-4388

2. 春休みスキーのお知らせ

春休みのスキープログラムの参加者募集中。
春の陽気の中でシュプールをえがきましょう。是非ご参加ください。

| コース名 | 対象 | 日程 | 行き先 |
|-----------|------------|-------------------|------|
| リトルキッズスキー | 春小1年~2年生 | 3月26日(木)朝~30日(月)朝 | 志賀高原 |
| 小学生スキー | 春 小3年~6年生 | 3月26日(木)朝~30日(月)朝 | 志賀高原 |
| 中学生スキー | 春 中1年~高3年生 | 3月24日(火)夜~30日(月)朝 | 野沢温泉 |
| チャレンジスキー | 春小4年~高3年生 | 3月24日(火)夜~30日(月)朝 | 野沢温泉 |

チャレンジスキーは緩斜面での確実なパラレル操作が出来る方
中・上級者向き

3. 春休み小豆島少年少女キャンプ参加者募集中
カヌー・ヨット・釣りなどのマリンスポーツと磯遊び、島内めぐりなど瀬戸内海の余島での楽しいキャンプです。
神戸YMCAの子ども達と一緒にキャンプを過ごします。
場所 神戸YMCA余島キャンプ場(香川県小豆郡土庄町字余島)
日程 2009年3月29日(日)~4月2日(木)4泊5日
対象 小学校2年生~高校3年生
費用 54,000円(会員以外の方は申し込み時にシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

4. 2008年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多くの少年リーダーが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子どもたちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後にかされることを祈るとともに祝いたいと思います。
日時 3月8日(日) 午後2時~5時30分(受付午後1時30分開始)
場所 京都YMCA 三条本館マナホール

5. 創立120年会員集会

日時 2009年2月14日(土)
第一部 記念礼拝 午後4時~4時40分
於:聖公会 聖アグネス教会(烏丸通下立売角) 奨励 門脇光禅司祭
第二部 『「京都YMCA125年」を語ろう』 午後5時~6時30分

於:平安会館(烏丸通上長者町上)
みなさまとともに「5年後の京都YMCA」に思いを寄せ、明日への展望を切り開き、夢を語りあいましょう。
会費 2,000円(サンドイッチと飲物付)

6. 春スイミング・デイキャンププログラムご案内

A・B・Cとも 受付 会員とその兄弟 2月6日(金) 午前10時~
会員・一般 2月6日(金)午後2時~
A. 春休みスイミングスクール
期間 3月25日(水)~30日(月) 連続6日間
対象 新年中・新年長(平成15年4月2日~平成17年4月1日生)

場所 京都YMCAウエルネスセンター三条 室内温水プール
費用 8,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

B. デイキャンプ 日帰り連続4日間

幼児フレンドシップ 期間 3月26日(木)~29日(日) 午前9時30分~午後4時30分

対象 新年中・年長(平成15年4月2日~平成17年4月1日生) 定員50名
費用 28,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

小学生フレンドシップ 期間 3月26日(木)~29日(日)午前9時~午後5時
対象 新小学1年~3年生 定員30名
費用 28,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

C. 鉄棒・とび箱が好きになる教室 連続5日間 定員各クラス15名
日時 3月25日(水)~29日(日) 連続5日間

対象
Aクラス 新小学1年生~4年生 午前9時~10時10分
Bクラス 新年中~小学2年生 午前10時25分~11時35分
Cクラス 新年中~小学2年生 午後1時~2時10分
Dクラス 新小学1年生~4年生 午後2時25分~3時35分

場所 京都YMCAウエルネスセンター三条 地下マナホール
費用 10,000円(会員外の方はシーズン(臨時)会費2,000円が必要です。)

~ に関するお問い合わせ・お申込みは 電話(075)231-4388
に関するお問い合わせ・お申込みは 電話(075)255-4709

2月の予定

4日(水) 第一例会(TOF例会) 19:00~21:00
グランドプリンスホテル京都
8日(日) チャリティーボーリング
しょうざんボウル
18日(水) 第二例会(通常例会) 19:00~21:00
グランドプリンスホテル京都

1月22日(日) 車椅子駅伝
1月23日(金) 三役会 廣井会長宅
1月25日(水) 役員会 京都YMCA

役員会報告

- ・保君、西川君、荒木君を新入会者とする
 - ・2月第一例会登録費 メネット¥1500、メンバー候補¥3000、ゲスト¥5000
 - ・2月臨時例会会登録費 メン無料 メネットメンバー候補 ¥3000 ゲスト ¥5000
 - ・サンライズメンバー ¥4500
- 以上すべて承認されました

3月の予定

4日(水) 第一例会(通常例会) 19:00~21:00
グランドプリンスホテル京都
18日(水) 第二例会(通常例会) 19:00~21:00
グランドプリンスホテル京都
2月20日(金) 三役会 廣井会長宅
2月25日(水) 役員会 京都YMCA

ハッピーアニバーサリー



8日西堀和之君・久美子さん
14日古川安雄君・圭子さん

ハッピーバースデー



1日廣井武司 君
13日北野功治 君
15日嵯維巧樹 君
17日岡西博司 君
21日森 穂高コメット
21日西村咲穂マゴメット
26日三村もも子コメット

